

2026年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	007	訓練分野	A.バックオフィス－新技術活用
コース名	R P A 活用		
正式な コース番号・ コース名	26-25-12-096-007 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 － ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2026年6月11日（木） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会 場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分 無料駐車場有（事前予約不要） TEL：077-537-1176		
対 象 者	初任層・中堅層、R P A 初心者 ●これからR P Aを活用したい方 ●R P Aを活用した業務の自動化を行いたい方 ●実際にR P Aツールに触れたい方		
習得する スキル等	●業務の自動化による生産性向上をめざすR P Aの概要や導入手順、活用方法		
ポイント	RPAの概要や特徴、導入事例や導入の際の注意点、運用・保守について理解していただきます。RPAツールのPower Automateについて、基本的な操作方法を習得していただきます。更に、自身の業務でPower Automateを活用するために、業務内容や手順の見える化の演習を行います。また、グループディスカッションにより、参加者と情報交流を行い、業務の見直しやスキルアップに活かしていただきます。		
内 容	1 R P A の導入手順 （1）RPA（Robotic Process Automation）とは 簡単な事例によるRPAの理解及びRPAの出現した背景 （2）RPAの特徴 現在市場にあるRPA製品の一覧と機能概要、価格体系を紹介 （3）RPA導入メリット、デメリット RPA導入メリットが出る、あるいは出ない業務プロセスのポイント （4）RPAの導入手順 7つの導入手順について説明し、導入事例を紹介 2 RPAの活用方法 （1）RPAを適用した業務事例 RPAの特徴別事例及び小規模業務でメリットがでる導入事例紹介 （2）RPAツールの活用（入門編） サンプル業務の紹介及びPowerAutomateのレコーダー機能体験		

	<p>3 R P A 開発の役割</p> <p>(1) RPAツールの活用（初級編） サンプル業務の紹介及びPowerAutomateのエクセル活用体験</p> <p>(2) RPAツール活用検討【グループ討議】 RPAを活用したい業務の整理及び業務フロー作成（ディスカッションあり）</p> <p>(3) 運用と保守 RPAの運用と保守の業務内容及び管理の負担度について</p>		
実施機関	株式会社東京ナレッジプラン		
定 員	15 人	受 講 料	3,300 円（税込）
使用ソフトウェア	Power Automate for desktop	実施機関・講師からのメッセージ	
持参品等	筆記用具	R P A の活用方法について、身近な業務での導入事例を紹介しながら、自社での活用方法をイメージできるように進めていきます。 また、演習では、自社の業務フロー作成や、実際にPowerAutomateを操作していただき、エクセル入力業務やWEBデータコピー業務などの自動化を体験していただきます。 明日からの業務に活用できるように進めていきますので、是非ご参加ください！	
備 考	実施機関が準備したパソコンを使用して演習を行います。 電子ファイルの持ち帰り及び提供はできません。		